

獣医学共用試験調査委員会（第3回）議事録

1 日 時 平成22年1月25日（月）13:00～18:05

2 場 所 東京大学農学部3号館105B

3 出席委員

酪農学園大学：山下和人教授

麻布大学：浅井史敏教授、

北里大学：高井伸二教授

東京大学：大野耕一准教授

日本獣医生命科学大学：新井敏郎教授

日本大学：鎌田寛教授

獣医学共用試験調査委員会の上級組織

獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに関する調査研究委員会

総括班責任者 東京大学 尾崎 博教授

全国大学獣医学関係代表者協議会 会長 吉川 泰弘教授

獣医学教育改革室 橋本 善春教授

4 議 題

(1) 医学・歯学における共用試験導入から実施に至る概要

講師：福田康一郎先生 医療系大学間共用試験実施評価機構・副理事長

午後1時20分過ぎから約1時間に渡る医学部共用試験の概要について福田先生にご講演を頂き、その後、質疑応答に入った。コアカリキュラムから共用試験に至る背景、文科省、厚生労働省との関係、医学教育の国際水準など様々な話題提供を頂いた。医学部における共用試験は5年目に入り、その効果が卒後研修においても見え始めたとのこと。更に、CBT問題作成は教員のFDとなり、試験問題作成委員は問題作成の過程で様々な分野における交流が出来たことなど裏の成果もお聞かせ頂いた。また、医学部において卒論が無いことの問題点を指摘され、この点が現行の獣医学教育の長所であることを再確認した。

(2) 獣医学共用試験における目的・目標について、これまで提出された報告について説明を受け、それらをたたき台として議論を進めた。臨床系も含めて獣医学教育組織の現状を顧みると共用試験の必要性の議論も噴出すると思われるが、獣医学教育改革の原点に立ち返り、改革の方法論として前向きな方向で話し合いを行い、そこから見えてくる各種問題の洗い出しが重要であるとの方針で議論を重ねることとした。尚、委員がこれまでの経緯の中から、問題点を整理し、メールによる意見交換を行い、次回に備えることとした。

(3) 次回の予定 2月下旬で予定調整を行いたい。